

平成 22 年 4 月 1 日

記者クラブ御中

財団法人 長瀬科学技術振興財団 平成 22 年度の助成決定について

大阪市西区新町一丁目 1 番 17 号
財団法人 長瀬科学技術振興財団
理 事 長 長 瀬 英 男

当長瀬科学技術振興財団の平成 22 年度の助成 15 件を、選考委員会及び理事会において下記のとおり審査、決定いたしましたのでご通知いたします。

当長瀬科学技術振興財団は、生化学及び有機化学等の分野における、科学技術の発展を願って平成元年 4 月に設立許可されたもので、今回が 22 回目の助成であります。

記

1. 助成金贈呈式

日 時	平成 22 年 4 月 22 日 (木) 午後 5 時より
場 所	大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センター 大ホール

2. 助成金受賞者一覧表 添付別紙 (No. 1) をご参照下さい

3. 助 成 金 額 37,500,000 円 (研究助成 15 件合計)

4. 当財団の概要 添付別紙 (No. 2) をご参照下さい

以 上

お問い合わせ : 大阪市西区新町一丁目 1 番 17 号
長瀬産業株式会社内
財団法人 長瀬科学技術振興財団
TEL 06-6535-2117

平成22年度助成金受賞者一覧表

(五十音順)

氏名	現職	研究テーマ
<生化学>		
黒田 俊一	名古屋大学大学院生命農学研究科	全自動1細胞単離システムによる革新的な細胞育種法の確立
小迫 英尊	徳島大学疾患酵素学研究センター	生体内におけるプロテインキナーゼの標的基質を網羅的に同定するためのリン酸化プロテオーム解析法の開発
櫻谷 英治	京都大学大学院農学研究科	代謝工学的手法を用いた油糧微生物モルティエラ・アルピナによる有用脂質生産
藤原 伸介	関西学院大学理工学部	好熱菌の低温誘導型分子シャペロニンによる品質管理
三原 久明	立命館大学生命科学部	金属汚染浄化とレアメタル資源回収システムの開発を目指した新規金属代謝微生物の研究
森 浩禎	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科	大腸菌との接合を利用した放線菌網羅的実験リソース構築の基盤構築
山地 秀樹	神戸大学大学院工学研究科	昆虫細胞を用いたウイルス様粒子ワクチンの高生産プロセスの開発
<有機化学>		
安藤 香織	岐阜大学工学部	分子軌道計算に基づいた不斉 Morita-Baylis-Hillman 反応の触媒の開発
生越 専介	大阪大学大学院工学研究科	ニッケル触媒によるアルデヒドの選択的交差二量化反応
北村 充	九州工業大学大学院工学研究院	キノンジアジドを用いる多置換芳香族化合物の選択的合成
桑野 良一	九州大学大学院理学研究院	炭素原子のみで構成される多環式芳香族化合物の触媒的不斉水素化
西川 俊夫	名古屋大学大学院生命農学研究科	イオンチャネルを阻害する天然毒素とその類縁体の化学合成
松田 建児	京都大学大学院工学研究科	双安定性有機分子を用いた分子スケールナノサイエンス
<生化学・有機化学>		
阿部 郁朗	東京大学大学院薬学系研究科	光学活性アミノ酸誘導体を基質とした植物ポリケタイド合成酵素の触媒機能拡張
伊東 忍	大阪大学大学院工学研究科	二核金属酵素の機能改変と有機合成触媒への応用

財 団 概 要

1. 名 称

財団法人 長瀬科学技術振興財団

(英文名：Nagase Science and Technology Foundation)

2. 所在地

大阪市西区新町一丁目1番17号

3. 理事長

長 瀬 英 男

4. 設立許可

平成元年4月26日

5. 基本財産

現 金 7億円

投資有価証券 約11億6千9百万円(平成22年3月末現在)

6. 目 的

この法人は、生化学及び有機化学等の分野における研究開発及び国際交流に対し助成等を行うことにより、科学技術の振興を図り、もって社会経済の発展に寄与することを目的とする。

7. 事業の概要

- (1) 生化学及び有機化学等の分野における研究に対する助成
- (2) 生化学及び有機化学等の分野における国際交流に対する助成
- (3) 生化学及び有機化学等の分野における研究成果の普及
- (4) その他本財団の目的を達成するために必要な事業

8. 主務官庁

文部科学省

(特定公益増進法人認可)

※ ホームページアドレス <http://www.nagase-f.or.jp/>